

九州国立博物館で「法然と極楽浄土」展

もんし

発行所 光山寺
〒758-0063
萩市 大字山田4553
TEL (0838) 22-1370
http://kousanji.net

咲くも無心
散るも無心
花は嘆かず
今を生きる
(坂村真民)



特別展「法然と極楽浄土」が、二〇二五年十月七日、十一月三十日に九州国立博物館(福岡県太宰府市石坂)で開催されます。東京国立博物館(二〇二四年終了)、京都国立博物館(同上)に

法然聖人は、平安時代末期、繰り返される内乱や災害・疫病の頻発によって世は乱れ、人々は疲弊していた中、比叡山で学び、中国唐代の阿弥陀信仰者である善導大師の教えに接し、承安五年(一一七五)、阿弥陀仏の名号を称えることにより誰もが等しく阿弥陀仏に救われ、極楽浄土に往生することを説かれました。浄土宗を開かれ、その教えは、親鸞聖人を始め庶民に至るまで多くの人々に支持され、現代に至るまで連綿と受け継がれています。

この度の展示では、奈良県外では初公開の国宝「綴織當麻曼陀羅」、修理後初公開の国宝「早来迎」など、全国の浄土宗ゆかりの国宝の数々を中心に、浄土宗の美術と歴史を、鎌倉時代から江戸時代まで通覧する史上初の展覧会です。是非ご来館ください。

■法要時・無料送迎マイクロバスをご利用ください

令和六年度より玉江浦地区に限定となりますが、法要時の無料送迎マイクロバスを運行しております。近年、高齢化により車の運転やお参りが難しいという方々の声が多く、参拝者の利便性を図るために運行するものです。玉江浦地区の皆さまには、具体的な運行案内をいたしております。どうぞご利用いただけましたら幸いです。尚、この運行は、旧玉江浦仏教婦人会基金と萩市民葬祭様マイクロバスのご協力によるものです。



山口別院定例法座・毎月五日午後一時半(一月は十時半)

■位牌壇整理のお知らせ

納骨堂ご利用の皆様にお知らせです。光山寺の納骨壇につきましては、増築されている新エリア一階の納骨壇が一杯となりました。現時点で残っている納骨壇は二十数壇となりました。

位牌壇(旧エリア一階)につきましては、新規募集を致しておりません。現在、位牌壇利用者は従来の半分以下となっております。また、位牌壇の老朽化等もありますので、この度、位牌壇を整理し、継続利用の皆様には新しい位牌壇にご移動願うこととなりました。空いたエリアには、新しく納骨壇を設置したいと考えています。

位牌壇ご利用の皆様には、改めて秋頃をめどに詳細をご案内する予定です。位牌壇整理・新位牌壇移動につきましては、現時点では、ご利用者に金銭的ご負担のないよう整備する予定としております。どうぞ、ご理解をたまわりますようお願い申し上げます。

今後の予定

位牌壇継続利用の確認(利用者のみ) ↓位牌壇改修動行 ↓位牌など一時移動期間 ↓位牌壇エリア整理工事(旧位牌壇撤去・クロス等張り替え・新位牌壇設置) ↓継続利用者へお知らせ ↓修復完成動行 ↓新設位牌壇ご利用開始。

■護持会費納入の御礼

昨年の報恩講より徴収を開始いたしました護持会費につきましては、約九割の門徒の皆様に進納いただき、厚く御礼申し上げます。会費につきましては、予算予定どおり、火災保険積立(百万円)です。本願寺・山口教区、萩組への賦課金、境内維持費に使用させていただきます。会計・監査につきましては、六月の護持会総会にて承認後、一定期間、本堂内に掲示させていただきます。尚、護持会振込口座と納骨堂管理振込口座は違いますので、ご注意ください。

■光山寺公式「LINE」を登録ください

光山寺の公式「LINE」を開設いたしました。LINEをご利用の皆様にはQRコードを携帯電



光山寺行事案内

令和七年度前半の光山寺行事予定です。万障繰り合わせてご参加ください。

★光山寺法要

五月一日(木・金曜) 春季永代経法要
(一日講師、杉山恵雄師、二日講師、御園生宣生師)

九月二九・三〇日(月・火曜) 秋季永代経法要(講師、福田康正師)

★山口教区・萩組

六月 七日(土曜) 萩組総代会総会・研修会(長泉寺) 代表のみ

六月 八日(日曜) 山口別院、永代経法要(萩組参拝日)

六月未定日() 萩組仏教壮年会総会・研修会(西生寺)

六月二九日(日曜) 萩組仏教婦人会大会(福祉センター)

★子供会(土曜学校)

休止中

★仏教青年会

同上

★仏教壮年会

五月二十四日(土曜) 午後六時 仏教壮年会総会(本堂) 「ドキュメンタリー沖縄戦」観賞

★仏教婦人会

五月一日(日曜) 午前十一時 光山寺初参式

五月三一日(土曜) 萩組仏婦連盟委員会(光源寺)

六月二〇日(金曜) 午前八時 清掃・莊嚴・リハーサル

六月二二日(日曜) 光山寺婦人会法座 (講師、赤星大道師)

★総代会

総会、六月十五日(日曜) 午後二時

★護持会

総会、六月十五日(日曜) 午後二時

★お経の練習会(旧、礼讃の夕べ)

五月 十日(土曜)・六月一四日(土曜)・七月二二日(土曜) 午後八時(本堂)

八月 九日(土曜)・九月十三日(土曜)・十月 四日(土曜) 午後八時(本堂)

★親鸞聖人讃仰会

午後八時(本堂)

★雅楽練習会

午後七時半(庫裏) 五月二五日(日曜)

★ヨガ教室

午後四時四〇分(庫裏) 五月十日(土曜)・一七日(土曜)・六月一四日(土曜)

★仏教賛歌コーラス

午後三時半(本堂) 七月六日(日) 山口教区仏教賛歌のつどい(山口別院)

萩こころの電話(三分間法話) Ⅱ25-7710

西本願寺テレホン法話 075-371-7650



募集、お知らせ



●お経の練習会(旧、礼讃の夕)五月十日(土曜日)午後八時より今年も!

「正信念仏偈」の練習をしてみました「お経の練習会」も今年で三十五年目となります。どなたでも参加できるお経の練習会として、本年も五月から十月までの月一度の練習(原則第二土曜日の午後八時)で、お経本(聖典)を中心に日常の基本的勤行の一通りを練習したいと思います。お経本をお持ちでない方は光山寺にて用意しますので参加当日にお申し出ください。最近新しい参加の方も増えています。特に壮年の方は、はじめて参加の方は大歓迎です。(お申し込みは不要無料です)

●光山寺初参式 五月十八日(日曜)午前十一時

親鸞聖人のご誕生月である五月には毎年婦人会主催により初参式を実施しています。今年も五月十八日午前十一時、光山寺本堂にて開催されます。三歳くらいまでのお子さんが対象となります。仏の子として育つため仏教のご縁に初めてあう合同の初参式です。昨今子供の減少が激しいところですが、どうかご親戚等に対象となるお子さんがいらつしやいましたら是非お申し込み、ご参加ください。尚、お子さんのお名前、生年月日等を光山寺までご連絡ください。当日参加できない方は個別・自宅での初参式も受付可能です。



●親鸞聖人鑽仰会 会員募集!

親鸞聖人のみ教えを鑽仰し、同朋としての親睦を深める事を目的とした「親鸞聖人鑽仰会」を四月よりスタートしましたので、新規会員を募集いたします。門徒に限らず、年齢・男女を一切問わず、広く親鸞聖人のみ教えを勉強する学習会です。年会費は二千元で二ヶ月に一回の開催。「教行信証」を正しく学ぶことを中心に学習しています。『浄土真宗聖典(註釈版)』が必要となりますが、お持ちでない方は申し出ください。尚、開催は偶数月、原則第三月曜日午後八時より(次回六月二十三日)となりますので、ご注意ください。

(詳細は別紙にて申し込みください。)

●仏教壮年会 グループLINEに登録を!

仏教壮年会(会長、尾方忠久)では、本年度の総会・研修会を五月二十四日(土曜日)午後六時に開催いたします。また、本年も秋にグラウンドゴルフ大会(十月十九日)を開催予定として、



ます。一昨年から女性の参加者も広く募集しています。また、会員相互の連絡を密にするためLINEのグループ「光山寺仏教壮年会」を作成しました。各種案内や情報が受信できます。仏教壮年会の皆さまには、以下のQRコードよりグループ登録ください。

●除夜会で富くじ抽選会を開催しました

大晦日恒例の除夜会で富くじ抽選会が実施されました。例年、除夜会は大晦日午後十一時半すぎより開催されますが、平成二十六年より鐘をつかれる方全員に富くじ抽選券を配布し、除夜会終了後の新年のお勤めの「修正会」に引き続き、富くじ抽選会を実施しています。昨年末は約六十名の参加者の中、富くじ抽選会を行いました。景品当選者は二十名でした。尚、景品出品に際しては、総代会と仏教青年会より、また福引き抽選会では仏教壮年会にご協力頂きました。



●ヨガ教室募集中

「腕はあがりませんか?」「何もないところで、つまずいていませんか?」
実生活でスムーズに動ける身体作り、無理なく、スローペースのヨガ教室で、まずは体験から。



●電話番号・住所(連絡のお願い)

近年、固定電話を廃止される。門徒の方が増えて参りました。この為、御取越やお紐解きなどの行事連絡がつかないことが多くなりました。固定電話等を廃止された場合には、光山寺に一報を賜れば幸いです。

また、納骨堂(納骨壇・位牌壇)所有者の中で、県外等で引越をされた場合にも継承者の住所変更届が必要です。お寺からのお知らせ、会計報告などの郵便物が不配のお宅が増えております。お手数ながら宜しくお願い致します。

尚、納骨堂の利用廃止などのお手続きをされず、連絡不通、維持費未納が五年となりますと無縁墓の移動の対象となります。納骨堂より他地域の墓地等にお骨移転の場合にも、法律で光山寺の「改葬許可証」が必要となります。移転先の寺院や墓地管理者からの問い合わせも増えております。特に、県外在住の皆様は、ご注意ください。

●「新し領解文」使用推進の廃止

「新しい領解文」につきましては、光山寺では唱和しておりませんでした。正式に教団として唱和の推進が廃止されましたので、お知らせいたします。

《テレビホン法話集》いつでもどこでも『第一集』より転載

ミランダ王の問い 福岡教区 古海信春
『ミランダ王の問い』という書物があります。これは紀元前二世紀ごろ、西北インドを支配したメナンドロスというギリシア国王が、仏教僧ナーガセーナと討論した経過を記録したものです。その結果、メナンドロスは、仏教に帰依したということです。

その中に、こんな話があります。ある日、王様がナーガセーナに、「世の中の人びとは、南無阿彌陀仏を称えなたら、それだけで清らかな如来さまの国へ生まれることができる」といつておるが、それはほんとうのことか」とお尋ねになりました。それに対してナーガセーナは、「石を水の上におくとうなるか」という問いを逆に王様に出し、さらに「その石を沈めないにはどうしたらいいか」と重ねて問うのです。

王様が答えに困っていると、ナーガセーナは、「どんな小さな石でも、石には重みがある。水の上におけば沈んでゆく。しかし、どんな大きな石でも、船に乗せたら水の上にも浮くことができる」と答えるのです。

さらに王様が「船の話はわかったが、阿彌陀さまの国に生まれるという私の問いに答えてくれ」といわれ、ナーガセーナは「王様は学問が得意な立派な方です。しかし、そんな王様でも、あれが欲しい、これが欲しいといった欲の心や、腹立ちの心をおこすことがありでしょう。人間なら、とつていそのような心をなくすることはできません。小さな石でも、大きな石であつても、そんな心をもつておれば、阿彌陀さまの国へ生まれることはできません。しかし、船に乗せてもらえば水の上に浮くことはもちろん、向こう岸にも運んでもらえます。水に沈む石は私たち人間で、その船が阿彌陀さまの大きなおはたらきです」と答えました。その話を聞いて、王様は大変お喜びになったということです。

私たちも、阿彌陀さまのおはたらきの船に乗せていただく身をよろこびたいものです。

●仏教豆辞典 「接待」

「お客様を接待します」とか、「接待係」「接待所」など、接待とは、お客を厚くもてなすことを意味する言葉としてよく知られています。

仏教では、「接待」とか「摂待」と書いて「シヨウタイ」とか「セツタイ」と読み、一種の施しを意味する仏教語です。道のそばや、家の前に、清水や湯茶を出して置き、そこを通行する行脚僧や旅僧、旅人に飲んでもらうことを、摂待とか門茶といいました。接待茶とか、ふるまい酒ということも、そこから出た言葉です。だから接待とは、飲食物を施してもてなすことなのです。